



千代田学関連イベント

神保町の 魅力発見 エンジョイ！ シンポジウム

一産官学の共創によるまちづくりー

2017年7月11日(火)

文化産業信用組合本店3階会議室

18:30~20:30

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目101

参加費：無料 申し込み不要（先着100名）

登壇者：千代田区 / 古書店主 / 出版・編集者 / 飲食関係者 / 各大学の専門家

主催：大学連携プログラム「インターユニバーシティ神保町」実行委員会

後援：神田古書店連盟 / 東京都古書籍商業協同組合 / 神保町未来会議 / 東京文化資源会議 / 本の街・神保町を元気にする会 / 神田学会 / 東京商工会議所千代田支部

問い合わせ先：千代田学・神保町研究会 代表：小林正美（明治大学）[mkob@gol.com]



神保町の魅力発見 エンジョイシンポジウム

神保町は、古くから世界的にも古書店街として良く知られたこともあり、幸いに戦災を受けずに古き良き東京の雰囲気を保ち続けてきました。しかし、最近では再開発事業が周辺で実施され、街の雰囲気も変わりつつあります。

本シンポジウムは、神保町の魅力について、様々な立場の人に語って頂き、地域全体の魅力を再発

見すると共に、今後のまちづくりの将来ビジョンを共有することを目的としています。

特に、現在の風情を活かしつつ、様々な人々が快適に暮らせる街の将来像、家業が続けられ、独立系店舗が活躍できる街のありかたなどについて、市民や学生を交えた活発な意見交換を予定しております。

開会のあいさつ： 千代田学・神保町研究会 代表 **小林正美**（明治大学副学長）

パネルディスカッション

神保町は、世界有数の物学びのまち、世界最大の本の街、最近では「食の街」としても知られる。その明治以来受け継がれてきた神保町のDNA、家業の継続、インキュベーション、まちのブランドを手がかりに、神保町の将来像や今後の研究課題について語り合う。

パネラー（五十音順）

飯澤文夫（明治大学史資料センター研究調査員）

大久保徹也（日本出版インフラセンター（JPO）・専務理事、本の街・神保町を元気にする会・幹事）

諏訪雅夫（悠久堂書店・取締役社長、東京都古書籍商業協同組合・元理事長）

傅 健興（新世界菜館・会長）

松本博之（千代田区地域振興部長）

コーディネーター： **山本俊哉**（明治大学理工学部建築学科教授）

2017年7月11日（火）

18:30～20:30

文化産業信用組合本店3階会議室

〒101-0051 千代田区神田神保町1丁目101

最寄り駅：神保町駅 A9出口
（都営三田線 / 都営新宿線 / 半蔵門線）

千代田学研究メンバー

小林正美・山本俊哉・田村誠邦（明治大学）

堀啓二（共立女子大学）

根上彰生・宇崎崎勝也（日本大学）

中島伸（東京都市大学）

小泉秀樹・泉山墨威（東京大学）

facebook : facebook.com/jinbocho.chiyodagaku

twitter : @jinbocho777

